

平成26年度筑波大学自然保護寄附講座公開講座

筑波大学大学院自然保護寄附講座では、①自然保護法制度、②生態系の保全と復元、③自然保護教育と環境教育、④環境影響評価、という4つのテーマについて、公開講座を実施します。各分野で目覚ましい活躍をされている方々を講師としてお招きしています。学生・社会人にかかわらず、自然保護に関心のあるみなさまのご参加をお待ちしています。

講座内容

① 自然保護法制度

定員40名(学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
10月18日(土) 10:00-12:00	持続可能な社会と自然保護ー最近のアメリカの議論によせて	畠山武道(早稲田大学)
10月18日(土) 13:00-15:00	なぜ”自然”が文化財なのかー天然記念物にみる自然の価値	蒔田明史(秋田県立大学)
10月19日(日) 10:00-12:00	自然公園における環境保全と利用 ー自然公園法を中心とする”まもる”仕組みー	山本清龍(岩手大学)
10月19日(日) 13:00-15:00	外来種対策の現状と課題、改正鳥獣法による鳥獣保護管理対策の強化 ーいかに外来種対策、鳥獣保護管理対策を進めるかー	東岡礼治(環境省)

② 生態系の保全と復元

定員40名(学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
11月15日(土) 10:00-12:00	温暖化による日本の森林への影響：とくにブナ林分布への影響について	松井哲哉(森林総合研究所)
11月15日(土) 13:00-15:00	生物多様性の宝庫としてのため池と湖沼、その生態系の特徴に基づいた保全と再生を考える	高村典子(国立環境研究所)
11月16日(日) 10:00-12:00	里山生態系：人と自然のかかわりの過去・現在・未来	西廣淳(東邦大学)
11月16日(日) 13:00-15:00	海洋生態系の保全と復元：サンゴは減ってしまうのか？	山野博哉(国立環境研究所)

③ 自然保護教育と環境教育

定員25名(学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
12月6日(土) 10:00-12:00	持続可能な社会をめざす環境教育 ーポスト国連ESDの10年の成果と展望ー	阿部治(立教大学ESD研究所所長、日本環境教育学会会長、ESD-J代表理事)
12月6日(土) 13:00-15:00	ネイチャー・フィーリング ーからだの不自由な人とともに自然のしほみを五感で感じようー	鳥山由子(自然観察指導員、NACS-J評議員、元筑波大学教授)
12月13日(土) 10:00-12:00	自然とのふれあいにに関する取組 ー特に国立公園の事例ー	宇賀神知則(環境省)
12月13日(土) 13:00-17:00	紙芝居プレゼンテーション(KP)で伝える環境教育 「KP法実践講座」 ※KP法技術習得の実習です	川嶋直(コミュニケーションデザイナー、日本環境教育フォーラム)

④ 環境影響評価

定員40名(学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
12月14日(日) 10:00-12:00	持続可能な社会の作法、環境アセスメント	原科幸彦(千葉商科大学)
12月14日(日) 13:00-15:00	「参加型アセス」で行こう！	傘木宏夫(NPO地域づくり工房)
12月20日(土) 10:00-12:00	環境アセスメントをとおしてみた自然環境保全 ー自然環境アセスメントの現場からー	伴武彦(㈱ポリテック・エイティティ、環境アセスメント士会)
12月20日(土) 13:00-15:00	HEPから変わる日本の環境アセスメント ～生物多様性オフセット入門～	田中章(東京都市大学)

会場

筑波大学春日プラザ 4F 共同会議室 1

つくばエクスプレスつくば駅よりバス5分、徒歩20分
住所：茨城県つくば市春日 1-8-3

お申込

受講料：無料

申込締切：講座開催日より1ヶ月前

※定員に達した場合、締切日前に締切らせていただく場合がございます。

申込方法：必要事項を記入の上、次のいずれかの方法でお申込下さい。

①電話でのお申込：029-853-7099(午前9時～午後5時まで受付)

②FAXでのお申込：029-853-7099

③メールでのお申込：nature@heritage.tsukuba.ac.jp

④ホームページ申込フォームからのお申込：<http://www.conservation.tsukuba.ac.jp/>



★ 申込必要事項

- お名前(ふりがな)
- お電話番号
- メールアドレス(メールアドレスがない場合はご住所)
- ご希望の講座名(①～④を明記のこと)

※頂いた個人情報は、ご本人の同意がない限り第三者には提供いたしません。

